

議
町

長 日程第3「町長の所信表明」に入ります。

長 皆さん、おはようございます。議長より所信表明についてお許しを頂きましたので、今回はちょっといつもより長くなりますけども、御了承頂きたいというふうに思っています。本日から12日間の定例会、何とぞよろしくお願い申し上げます。

松田山の河津桜も満開を迎え、多くの方々に、お客さん来ていただいて、また町なかの賑わいも戻りつつある時節となりましたが、議員の各位の皆様におかれましてはますますの御健勝のことと心からお喜びを申し上げます。

去る2月22日に令和5年第1回松田町議会定例会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては公私にわたり大変御多用のところ、議員多数の御出席を賜り、ここに本定例会が開催できますことをまずもって御礼を申し上げます。ありがとうございます。

初めに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災から早くも12年を迎えます。毎年行われる陸前高田市東日本大震災追悼式は、本年も新型コロナ感染拡大を防止するため、県外からの参列者の受入れをされないということでしたので、2月9日に追悼の意を込めて、町民の皆様方をはじめ、多くの方からの心こもった義援金を陸前高田市に、町を代表してお届けしてまいりました。最愛の家族や御親族、御友人を亡くされた方々のお気持ちを思うと、哀惜の念に堪えません。お亡くなりになられた方、また、今なお行方不明の方々の御冥福と、被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、コロナ禍による影響が長引く中、政府は3月13日よりマスク着用は個人の判断に委ねることを基本とし、また、新型コロナの感染症法上の位置づけを5月8日から例年流行するインフルエンザと同じ5類にすることを決めました。今後、自分自身の感染を防ぐための対策は個人の判断に委ねられることになり、隔離や療養の規定もなくなりますので、町行政としましては、コロナの流行状況を見ながら、引き続き基本的な対応としまして3密を避けるなど、感染症予防対策に細心の注意を払いながら、新たな日常生活への対応に取り組んでまいります。

それでは、行政報告について日を追って詳細に御報告させていただくところでございますが、さきにお配りさせていただいている公務報告書にて一部割愛させていただき、主な行事についてのみ御報告させていただきますことを御了承願います。

年が明けた1月5日、本年最初の町の行事といたしまして、松田町賀詞交歓会並びに表彰式を行いました。本年の表彰に浴されたのは自治功労賞5名、一般表彰16名、1団体、感謝状14名、3団体でございました。表彰された皆様方にはこれからも町政に対しまして、さらなる御指導、御尽力を賜りたいと存じます。今年も式典終了後、寺子屋まつだの児童によるヒップホップダンスの披露と、ふるさと大使であります北川大介さんのおもてなしコンサートが行われ、およそ300人の町民の皆様方に楽しいひとときをお過ごし頂きました。

次に、1月7日には会場を生涯学習センター大ホールにて、令和5年松田町消防出初め式を挙行いたしましたところ、議員の皆様方には大変お忙しい中、御来場くださり、改めて感謝申し上げますところでもございます。当日は新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、表彰式のみ執り行いました。消防団員の皆様には、本業を持ちながら日夜火災や災害などから町民の生命と財産を守るため、献身的な活動をしていただいていることに深く感謝申し上げます。引き続き町民の安全・安心な暮らしを守るため、危機管理体制を強化してまいります。

次に、長い歴史があります成人式について、本年から「はたちの集い」と題しまして、1月8日に開催いたしました。これまで同様に、実行委員会の皆様を中心に企画・運営をしていただき、大人の仲間入りをした新成人は111名。当日は76名の新成人をお迎えでき、私も気持ちを新たにいたしましたところがございます。今年も新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、式典のみの開催とし、関係者の方々に御協力を賜り、はたちの集いを滞りなく行うことができました。

続きまして、1月14日から始まりました第11回寄ロウバイまつりは、開花

が順調に進んだことから、当初日程どおり、2月12日をもって終了いたしました。新型コロナ感染症拡大の影響も少なくなり、今年度の来場者数は約2万人の方が御来園をされ、甘い香りと心地よいひとときを過ごしていただきました。実行委員の皆様を初め、関係各位の方々に対し、寄地区の賑わい並びに松田町のPRを担っていただいたことに対しまして深く感謝を申し上げます。

続いて、第24回まつだ桜まつりにつきましては、2月11日から開催をしております。寒い日が続く、なかなかつぼみが開いてくれませんでした。見頃を迎えた2月22日から鮮やかに色づき、訪れる皆様方に春をお届けしています。開催期間は3月12日となっておりますので、議員の皆様方におかれましても大変お忙しい中と存じますが、御来園くださり、春を身近に感じてくだされば幸いです。

次に、2月19日、関係機関など、約30名の御出席を賜り、神奈川県下初となる公設のジビエ処理加工施設の落成式を執り行いました。当該施設は足柄上郡の5町で協議会を設置し、建物の愛称を「あしがらジビエ工房」と決めました。今後、農業被害を減らし、耕作放棄地対策など、農業振興や有害鳥獣対策はもとより、ジビエが地域資源として活用できる運営を目指し、上郡内の関係各位の皆様と連携を図りながら取り組んでまいります。また、設置に当たって、地域住民の方々に大変御協力頂いたことを、この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

最後になりますが、3月12日に予定していました「ふくしあったかフェスタ」については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、町民の皆様方の不安を払拭し、命を守ることを最優先に考えられ、本年度も中止となり、松田町社会福祉協議会表彰式のみで開催となりました。何とぞ御理解を賜りますよう、よろしく願いいたします。

それでは、議会に先立ち、貴重なお時間を拝借いたしまして、令和5年度当初予算案を御審議頂くに当たり、所信の一端を述べさせていただくところでございますが、その前に、まず本定例会に提案させていただいております

条例案、補正予算案等の概要について御説明を申し上げます。提出議案につきましては、条例の一部を改正する条例6件、そのほか2件、補正予算3件、新年度予算9件でございます。

議案第2号松田町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例並びに議案第3号地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例については、地方公務員法の一部改正に伴い、町職員の定年を65歳まで段階的に引き上げるとともに、60歳を超える職員の職制、任用及び給与に係る規定を整備するため、所要の改正をしたいので提案するものでございます。

議案第4号松田町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例については、非常勤特別職の時勢に即した処遇改善を図るため、報酬額に係る所要の改正をしたいので提案するものでございます。

議案第5号松田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例については、令和4年8月に行われました人事院勧告に伴い、本町において12月に常勤職員に係る給与条例を改正したことを踏まえ、一般職員としての均衡を図るため、会計年度任用職員に係る給与について所要の改正をしたいので提案するものでございます。

議案第6号松田町交通指導隊設置条例の一部を改正する条例につきましては、交通指導隊の出動内容の多様化に伴い、出動手当を見直し、処遇改善を図るため所要の改正をしたいので提案するものでございます。

議案第7号松田町寄簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例につきましては、寄地区において水道使用開始時にかかる初期負担額を減額させることで、新規居住者等の増加を促進し、使用料等の増収に結びつけ、事業会計の安定化を図るため所要の改正をしたいので提案するものでございます。

議案第8号松田町川音川パークゴルフ場の指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるため提案さ

せていただくものがございます。

議案第9号松田町第6次総合計画基本計画の見直しについては、町の総合的かつ計画的な行政運営をより一層推進し、「いのち“育み”未来へ“ツナグ”進化“つづける”故郷」を掲げる町の将来像を実現するため、松田町自治基本条例第15条第1項及び松田町議会基本条例第5条第1項第1号の規定に基づき、本定例会に提案させていただくものがございます。

議案第10号令和4年度松田町一般会計補正予算（第9号）については、年度内のほぼ最後の補正予算でございます。事業費が確定し、不要になった予算額などを整理させていただいたものがございます。

議案第11号令和4年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、保険給付費が減少したことによる歳出減額補正に伴い、その財源となる県補助金の保険給付費等交付金の歳入減額補正などが主なものでございます。

議案第12号令和4年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、繰入金を増額補正となります。

議案第13号から第21号までが令和5年度の一般会計予算、特別会計予算、企業会計予算、全9会計を提案させていただくものがございます。また、本定例会中におきまして追加議案を予定しております。松田町国民健康保険条例の一部を改正する条例について、本定例会に追加議案として御提案させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上が提出条例等のそれぞれの概要でございます。御説明申し上げました諸議案につきましては、議事の進行に伴い、私をはじめ副町長、教育長、課長等より御説明申し上げますので、よろしく御審議の上、御決議賜りますよう、よろしくお願いいたします。

次に、令和5年の初めての定例議会開会に当たり、令和5年度の町政運営に対する所信を述べ、議員の皆様並びに町民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。議案とともに提出をさせていただきました令和5年第1回定例議会所信表明を基に、令和5年度当初予算案の概要を申し上げるととも

に、当面の町政に対する取組など、所信の一端を述べさせていただくわけですが、主に新規事業や重点事業などの概要とさせていただくことを御承知願いますよう、お願いいたします。

それでは、皆様方のお手元にある所信の予算について御報告申し上げます。初めに、新型コロナウイルスの感染については、全国的に感染拡大の第8波が広がり、本町においても過去と比較してお亡くなりになる傾向が高くなっておりますので、基本的な対応として3密を避けるなど、改めて感染症予防対策をしっかりと講じているところでもございます。そうした中、町民の命と暮らしを守り抜き、コロナ禍による生活様式の変化にも対応した、新たな日常の中で学んできた経験を生かし、目に見えて大きく成長していくために、町民や議会、行政との協働・連携協力による持続可能なまちづくりに取り組むとともに、松田町自治基本条例の理念に基づき、常に町民目線に立ち、町民のための町政運営を進めてまいりました。現在高齢者や子育て世帯への支援をはじめ、地方創生関連施策、定住促進や交流・関係人口施策並びに防災対策など、町民、議会議員の皆様方の御理解と御協力を賜り、町民福祉の増進と地域の活力に資する施策など展開できていることに対し、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

それでは、令和5年度当初予算案の概要について御説明を申し上げます。初めに、令和5年度松田町一般会計予算案につきましては、総額51億9,000万円、前年度対比3億2,000万円の減額、率にして5.8%となっております。主な減額要因は、松田小学校整備事業が完了したため、約5億2,000万が減額したことによるものでございます。なお、令和5年から6年度事業として、各年度に予算計上する予定でありました松田中学校校舎大規模改修工事につきましては、令和5年度に予定していた外装工事やエレベーター設置工事など前倒しを行い、令和4年度補正予算にて3億1,339万円を計上し、令和5年度に繰り越すこととしたため、実質令和5年度に工事を実施いたしますので、一般会計の実質総額は令和4年度当初予算とほぼ同額の予算規模となっております。

次に、国民健康保険事業など7特別会計の総額は29億8,951万円、前年度対比95万9,000円の減額、率にして0.3%の減となります。企業会計の上水道事業会計については2億7,193万円、前年対比8,747万円の増額、率にして47.4%の増となります。

全9会計の令和5年度予算総額は84億5,144万円、前年対比2億4,212万円の減額、率にして2.8%の減となります。令和5年度当初予算案につきましては、一般会計及び全会計合わせて過去3番目の予算規模となりますが、松田小学校整備事業を除くと過去最大の予算規模となります。

続いて、予算編成の基本的な考え方でございます。当町の人口動向を見ますと、平成22年国勢調査人口を基に、9年前となります平成25年に国立社会保障・人口問題研究所が発表した松田レポートの報告では、20歳から39歳までの女性の人数を基に算出された結果、松田町は2040年の人口推移によると7,055人となり、消滅可能性都市として名指しされて以来、消滅可能性都市とならないために、町民や議会の皆様方の御理解と御協力により、平成27年国勢調査を基にした平成30年推計では7,364人、町の最新の町独自の調査においては約7,800人まで回復する見込みとなっております。本町では令和元年に策定いたしました町の将来設計となる第6次総合計画の基本構想に掲げている将来像として、「いのち“育み”未来へ“ツナグ”進化“つづける”故郷」を目指し、2040年の目標人口1万人の実現に向け取り組んでおりますが、近年の状況では新型コロナの影響により、各年度の想定人口より若干減少傾向にて推移している状況に危機感を抱いているところでもございます。

そうした中、令和5年度についても引き続き人口減少の抑制を掲げ、第6次総合計画後期4年間のまちづくりアクションプログラムがスタートする年として、新たなまちづくりの基本理念であるチルドレンファーストを念頭に置いたまちづくりを継続するとともに、新型コロナウイルス感染症対策にも積極的に対応してまいりたいと考えております。コロナ禍の状況ではありますが、SDGs未来都市としてポスト・ウィズコロナを見据えながら、誰一人取り残さないよう、SDGsに資する取組を積極的に推進し、今後はさらに

未来への投資となる人材育成に主眼を置き、幼稚園、小学校、中学校におけるグローバル教育を強化することや、買物困難者や高齢者等の移動手段の確保としてA I オンデマンド交通の実証実験を行うなど、子供から高齢者まで、「みんなが笑顔で幸せなまち」を目指す、持続可能な未来創造「チルドレンファースト“継続から飛躍”」と題し、予算編成を行いました。

初めに、一般会計における歳入について、特色のあるものを中心に御説明申し上げます。町税については、予算額15億949万円、前年度対比1,705万円の減額、率にして1.1%の減となります。固定資産税や軽自動車税の増収が見込まれるものの、納税義務者数の微減などによる個人町民税の減収や、景気動向が不透明なことによる法人町民税の減収が見込められるため、全体として減額を見込んでおります。

地方交付税については、予算額13億円、前年度対比2億1,500万円の増額、率にして19.8%の増となります。令和5年度の国の地方財政計画に基づき、高齢者健康福祉費などの単位費用の見直しによる増加や、地方交付税の原資となる国税収入の増収による普通交付税の大幅な増額を見込んでおります。

国庫支出金につきましては、予算額5億6,227万円、前年度対比1億3,011万円の減額、率にして18.8%の減となります。主な減額要因は、松田小学校整備事業約1億6,000万円が完了したことなどによるものでございます。主な交付金等につきましては、社会資本整備総合交付金やデジタル田園都市国家構想交付金などとなります。

次に、県支出金につきましては、予算額3億6,666万円で、前年度対比25万円の増、率にして0.1%の増となります。主な補助金は、障害者自立支援給付金等負担金や市町村自治基盤強化総合補助金などとなります。

寄附金については、予算総額1億1,010万円、前年度対比10万円の増となります。これは主にふるさと納税によるものでございますが、寄附額増加対策として、町内2つのゴルフ場へのふるさと納税自動販売機を設置し、増収に取り組むほか、企業版ふるさと納税制度を含め、観光PRの推進や顧客の拡大、さらに返礼品の品目を増やすなど、寄附額の積極的な受入れを進めてま

いります。

次に繰入金については、予算額 2 億 7,800 万円、前年度対比 5,482 万円の増額、率にして 24.6% の増となります。公共施設等整備基金や新松田駅周辺整備基金及び教育施設整備基金、一般会計全体の財源不足を補うため、財政調整基金からの繰入金を予定しております。増額の主な要因は、財政調整基金の繰入金増額によるものでございます。なお、財政調整基金の現在高につきましては、令和 4 年度末にて約 14 億 9,500 万円、令和 5 年度末では約 12 億 8,500 万円を見込んでおります。

続いて、町債については、予算額 2 億 4,600 万円、前年度対比 4 億 880 万円の減額、率にして 62.4% と大きく減少しております。主な減額要因は、松田小学校整備事業約 3 億円が完了したことなどによるものでございます。令和 5 年度で予定している主な町債につきましては、新松田駅南口駅前広場整備事業や小田原市消防松田分署の土地購入などによるものでございます。

また、臨時財政対策債におきましては 4,000 万円、前年度対比 9,000 万円の減額となります。主な減額の要因は、国税収入の増額により、普通交付税における臨時財政対策債振替の減少が見込まれるためのものでございます。

続きまして、歳出といたしまして、主な施策等について、予算科目順に御説明を申し上げます。初めに、議会費、予算額 8,485 万円、前年度対比 382 万円の増額となっております。主な増額要因は、議会運営のデジタル化等に取り組んで頂くため、タブレット端末及び議会運営支援システムの導入に要する経費によるものでございます。

次に、総務費、予算額 8 億 9,355 万円、前年度対比 1,745 万円、率にして 2.0% の増となります。主な増額要因は、新モビリティサービス推進事業などによるものでございます。新規事業ではその新モビリティサービス推進事業に 5,883 万円を計上し、持続的に安定的な A I オンデマンド交通の実証実験や、マイナンバー所有者の引っ越しワンストップ支援サービス等の導入経費 499 万円を計上しております。

重点事業の定住・少子化対策支援事業及び移住交流促進事業につきまして

は1,328万円を計上し、実際に町に住宅を購入された方への住宅取得奨励金支給事業や、3世代の定住支援のため、2世帯住宅等促進奨励金の支給をはじめ、民間の空き室等の解消に向けた、若年世帯、子育て世帯及び学生世帯への家賃補助を通じた居住支援、新婚世帯への支援についても引き続き実施いたします。新年度は移住促進事業といたしまして、新たにお試し住宅の実施や、増加傾向にあります空き家の利活用のための改修や解体への補助金を計上し、活用に向けた取組を強化してまいります。さらに、寄地区の人口減少対策や活性化に向けた協議会等を設置し、地域の皆様方の声を伺った上で、実施に向けた様々な取組を進めてまいります。また、誰一人取り残さない、SDGsの推進事業費137万円を計上し、デジタル&グリーンによる、様々な地域の課題と、その解決に向けた活動等を広く周知・共有し、その取組を応援したい人をつなげていくための官民連携プラットフォームを加速化し、より具体的な展開を進めてまいります。

次に、地域公共交通対策事業につきましては1,104万円を計上し、駅前広場の渋滞緩和や地域公共交通の補完を目的に、路線バスの維持確保を併せた地域公共交通対策として引き続き実施する乗合バス路線の増発、枝線の乗り入れ運行に対する補助や、バス通学定期券、高齢者まちなりバス定期券の購入費助成を実施いたします。また、令和4年度から2年間をかけて策定業務を進めております地域公共交通計画では、既存の交通サービスに加え、新たな交通サービスの導入に係る検討を併せて進めることで、地域の輸送資源を総動員し、将来にわたり地域住民の移動の足を確保実現できるよう、町地域公共交通会議において十分な議論を行い、令和5年度末までに策定をしてまいります。

そのほか、行政協力員及び地域活動の拡充事業といたしまして、デジタルツールの機能強化に伴う経費や、河内児童センターと田代地域集会施設の改修事業を計上、シティプロモーション・おもてなし推進事業では、町のプロモーション用の商品開発や、町の魅力を町内外に発信・浸透させて、定住・交流人口やふるさと納税の増加につなげるための事業費636万円を計上してお

ります。

次に、民生費、予算額13億8,161万円、前年度対比3,746万円の増額、率にして2.8%の増となります。主な増額要因は、障害児者支援及び給付等に要する経費などの増額によるものでございます。

高齢者福祉施策では、高齢者等移動手段確保助成金715万円を計上し、75歳以上の高齢者及び妊産婦さんの外出支援として、タクシー乗車の初乗り料金1月6回分の助成を継続いたします。デジタル機器を活用した高齢者等見守り事業に161万円を計上しております。

障害者福祉施策では、重度障害者医療費助成事業や障害福祉サービス等給付事業など、そのほか高齢者や障害児者、子育て世帯等のための基本的な施策についても継続してまいります。

児童福祉施策の重点事業につきましては、0歳から満18歳に達した方への医療費無償化による助成として3,813万円、3歳未満の第2子の保育料無償化約500万円、ひとり親家庭等支援事業に300万円を計上し、安全・安心に子育てしていただきながら生活ができるよう支援をしてまいります。また、学童保育運営事業につきましては、小学1年生から6年生までを対象として、新たにALTによる英会話教室などを行うなど、事業を拡充し、子育て支援センターファミリーサポート事業や児童手当なども継続するとともに、新年度は各施設に対して子供が遊ぶ遊具を購入するなど、拡充を行ってまいります。地域福祉推進事業では、災害時の避難に支援が必要な方の個別対応といたしまして、新たに避難行動要支援システムの導入経費などを計上しております。

次に、衛生費、予算額3億9,809万円、前年対比983万円の減額、率にして2.4%の減となります。主な減額要因は、新型コロナウイルス関連のワクチン接種に伴う経費などの減額によるものでございます。

新規事業の出産・子育て応援事業では、全ての妊婦さんや子育て世代が安心して出産・子育てできるように、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない相談支援事業を行うとともに、国事業といたしまして、妊娠届出時に5万円、出産1人当たり5万円の給付事業と併せて、町単独事業といたしまして、出

産時に5万円、子育て支援給付金として、1歳から2歳児1人当たり3万円の出産・育児関連用品などの購入費に充てていただくものための給付金など、合計1,206万円を計上しております。

未病改善事業の経費につきましては、水素酸素発生器やAIによる健康測定器の機器導入経費として720万円を計上し、各種健康数値を基に健康意識の向上に取り組んでまいります。

重点事業では、有害防除対策事業として、鳥獣対策の駆除活動の持続性を高めるため、県内初となる公設民営でのジビエ利用促進に向けたジビエ処理加工施設の維持管理に要する経費など、742万円を計上しております。

次に、グリーン化を含めた事業として、再生可能エネルギー利用促進事業に638万円を計上し、継続事業として、災害時に非常用電源として活用に協力していただくことを条件とした、電気自動車等購入費補助として最大60万円の補助や、一般家庭用の太陽光発電システムの購入に対する補助を行います。新たに住宅用電気自動車充電用設備設置補助金を計上しております。

母子保健事業といたしまして、保険適用外部分を補う不育症治療費助成、妊産婦健診時及び出産時のタクシー利用に対する助成、また、産後ケア応援助成金として、不安を抱えながら出産を終えた産婦さんに対して、産後の家事支援や産後ケアにかかる費用の一部を助成する事業を継続いたします。

新規事業といたしましては、3歳児健診時に視覚屈折検査を取り入れ、お子さんの視覚異常の早期発見につなげる事業を拡充し、合わせて1,488万円を計上して、子育て支援の強化に取り組んでまいります。

感染症予防事業では、小児インフルエンザワクチン接種助成金の対象を小・中学生までとしておりましたが、新たに生後6か月からを対象を拡大いたします。さらには、帯状疱疹予防接種費用の一部助成を行います。

健康増進事業につきましては、新たに前立腺がん施設検診を実施し、後期高齢者保健事業においては、新たに高齢者健康診査受診率向上に向けた取組を実施いたします。

そのほか、ごみ減量推進事業では、家庭用コンポストやペットボトル圧縮

機の支給など、247万円を計上しております。

次に、農林水産業費、予算額1億933万円で、前年度対比776万円の減額、率にして6.6%の減となります。主な減額要因は、農林業水産費に伴う人件費の減額によるものでございます。新規事業では、農地の保全及び流動化を施す新規就農者等の借り手が参入しやすい環境配慮型の農業を推進するための各種補助金として130万円を計上いたしました。また、森林の持つ多面的機能の保全を目的に、森林管理の方向性や整備方法について、森林所有者等の意向を把握するための調査費を333万円計上しております。

継続事業につきましては、寄ロウバイまつり等を開催し、寄地区に観光客を迎え入れ、交流人口等を増加させるための経費と、新たに、老朽化したみやま運動広場の遊具整備を含めた寄自然休養村の管理に要する経費1,649万円を計上。そのほか、農業収入の減額による農業従事者等の負担軽減と、様々なリスクへの備えを強化するため、農業経営収入保険加入促進補助金50万円を計上しております。

次に、商工費、予算額1億5,901万円で、前年度対比440万円の増額、率にして2.8%の増となります。新規事業といたしましては、第6次総合計画に位置づけ、町民ニーズやまちづくりの推進に欠かせない重点的な事業の方向性を議論していく2つの協議会を設置いたします。1つ目は、高齢化と小売店舗の減少が重なるなどの状況を踏まえ、町内の買物環境の向上を目指すため、町民や関係者で構成する、仮称でございますが、松田町買物環境向上協議会。2つ目は、松田山の優れた自然環境や眺望を生かすとともに、課題のある農地や森林の保全を図ることで調和の取れた活性化方策を議論する（仮称）松田山活性化検討協議会となります。

重点事業につきましては、プレミアム率20%、発行総額6,000万円となります。商工振興商品券発行事業に1,140万円、公園管理経費として宮下児童公園のトイレの洋式化及び遊具の塗装など、公園の利用促進に1,169万円を計上しております。そのほか、継続事業といたしまして、商工振興対策事業に815万円、桜まつりやきらきらフェスタなどの事業など、観光宣伝事業に2,351万円を計

上しております。

次に、土木費、予算額 8 億 539 万円、前年度対比 2 億 9,388 万円の増額、率にして 57.5% の増となります。主な増額要因は、新松田駅周辺整備事業にかかる基金積立金や道路新設改良整備事業などによるものでございます。重点事業であります新松田駅周辺整備推進事業では、再開発組合の設立に向けた支援業務や駅前広場の基本設計、警察協議、都市計画決定に係る図書製作業務、また駅前整備事業については、多くの町民が望み願う最優先事業のため、後年度の財源負担を軽減するため、令和 5 年度に基金積立金として 2 億 2,500 万円を計上しております。これにより、令和 14 年度末までの積み立て目標総額 5 億 8,500 万に対し、令和 5 年度末までに積立累計額は約 4 億 500 万円となることを見込んでおります。継続事業では、定住促進を進めるためには住環境などの基盤整備が不可欠なものであり、その対策の一つとして道路新設改良整備事業に 1 億 3,075 万円を計上し、安心・安全な住環境整備並びに住宅地等の誘導促進、防災上の課題にも対応するための道路拡幅整備及び踏切内での安全なすれ違いを可能とするため、令和 4 年から引き続きの事業として、町道 19 号線町屋踏切改良事業などを計上しております。また、町道、生活道の老朽化などに対する道路補修及び生活環境改善を踏まえた、安全性や快適性を向上するための道路補修事業に 2,730 万円を計上しております。

次に、消防費、予算額 3 億 2,257 万円、前年度対比 1 億 2,325 万円の減額、率にして 27.6% の減となります。主な減額要因は、消防広域化による足柄消防署松田分署の土地購入などの進捗状況によるものでございます。新規事業では、消防団管理アプリ事業に 65 万円、拡充事業の自主防災会育成事業として、防災士資格取得事業及び防災講演会の開催に 51 万円、防災資機材等整備事業では、非常時に必要な備蓄量の確保、老朽化した発電機をインバーター発電に交換するなど、非常時の対応強化を目的に 555 万円を計上しております。広域消防事業では、足柄消防署松田分署土地購入費にかかる費用として 8,500 万円、債務負担行為として物件損失補償に要する経費 1 億 1,500 万円、町消防団組織維持及び団の活動や運営に伴う消防団運営事業に 2,045 万円を計上して

おります。

次に、教育費、予算額 5 億 6,763 万円、前年度対比 5 億 4,220 万円の減額、率にして 48.9% の減となります。主な減額要因は、松田小学校整備事業約 5 億 2,000 万円の完了などによるものでございます。新規事業につきましては、松田幼稚園園舎改修設計に 778 万円、コミュニティ・スクール事業に 58 万円を計上しております。重点事業につきましては、松田小学校太陽光発電設備整備事業に 7,387 万円、学校 I C T 推進事業については、小・中学校の全ての児童・生徒に、1 人 1 台のタブレットを配付して学習を行う経費として 1,551 万円。英語教育推進事業については、拡充事業といたしまして、外国語指導助手 A L T を、現在 2 名から 4 名に増員を行い、英語教育を強化するため 2,341 万円。スポーツツーリズム推進事業といたしまして 232 万円を計上し、スポーツ振興推進事業では部活動地域移行等を踏まえたスポーツ等のモデル事業といたしまして 1,124 万円を計上しております。現在行っております保護者負担軽減を目的に、幼稚園の園児や小・中学生の児童・生徒の給食費の一部助成として 694 万円を計上し、さらに学校給食用食材の物価高騰分の補助といたしまして、給食費の 10% を上限とした 368 万円を計上しております。

続いて、公債費につきましては 4 億 3,598 万円、前年度対比 902 万円、率にして 2.1% の増となります。

予備費につきましては 3,200 万円を計上しております。

以上が一般会計における令和 5 年度当初予算案のあらましとなっております。

続きまして、特別会計、企業会計について御説明を申し上げます。まず、国民健康保険事業特別会計でございます。予算額 12 億 6,087 万円、前年度対比 1,816 万円、率にして 1.4% の減となります。主な減額要因は、被保険者の減少などによる保険給付費及び保険税収入の減額によるものでございます。令和 30 年度の国民健康保険制度の広域化により、財政運営の責任主体となった神奈川県の下、資格管理や保険給付、保険税率の決定、賦課徴収、保険事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担ってまいります。松田

町の国民健康保険は被保険者の減少や高齢化、さらに軽減税率の拡充、また税率改正などから、保険税収入は前年度対比3.0%の減となっております。

国民健康保険事業納付金につきましては、国民健康保険制度の広域化の制度設計時の激変緩和が引き続き図られることになっております。制度改革の影響を鑑みながら、事業遂行、医療費の適正化に取り組んでまいります。また、引き続き、保険者努力支援制度による交付金の財源確保を基に、管理栄養士を配置し、生活習慣病の重症化予防に傾注してまいります。保健事業の地域包括ケアシステム推進事業におきましては、健康の見える化事業に引き続き取り組んでまいります。

次に、国民健康保険診療所事業特別会計につきましては、予算額4,756万円、前年度対比1,465万円の減額、率にして23.5%の減となります。主な減額の要因は、医薬品、衛生材料費などの医業費の減額などによるものでございます。国民健康保険診療所は、地域の皆様方から信頼され、身近で安心な診療を受けられる地域機関として重要な役割を担っています。引き続き専門の医師と県立足柄上病院の医師とで診療を行い、町民の皆様の健康と地域医療の向上に取り組んでまいります。

上水道事業会計につきましては、予算額2億7,193万円、前年度対比8,747万円の増額、率にして47.4%の増となります。主な増額要因は、令和6年度に完成を予定しています宮下水源の水害対策事業2年目の工事等によるものでございます。水道使用量収入につきましては、前年度対比125万円の増額となっており、資本的支出では宮下水源水害対策といたしまして、自家発電設備改修工事等を予定しております。引き続き安全でおいしい水の供給と、非常時に対応できるよう取り組んでまいります。

次に、寄簡易水道事業特別会計につきましては、予算額5,478万円、前年度対比291万円の増額、率にして5.8%の増となります。主な増額要因は、エネルギー料金の高騰による動力費の増加によるものでございます。なお、令和6年度から公会計の適用に向けた移行委託料1,066万円を計上しております。水道使用収入につきましては、前年度対比3.8%の増となり、地域住民の皆様

が安心して暮らせるよう、安定した供給を行ってまいります。

下水道事業特別会計につきましては、予算額2億6,351万円となり、前年度対比318万円の増額、率にして1.2%の増となります。主な増額の要因は、下水道施設の維持管理経費の増額によるものでございます。快適な暮らしを営むための生活環境向上と河川環境の保全に向けて、計画的に下水道の整備及び維持管理に取り組んでまいります。

歳入のうち、一般会計からの繰入金7,663万円は町債の償還に充てており、前年度対比3.8%の減となっております。

歳出の主な割合を占めている元利償還金につきましては、平成24年の町債の借換えにより、支出を抑制し、また平成29年度の料金改定を実施したことにより、一般会計からの繰入金の依存割合が削減されました。なお、令和6年度から公会計の適用に向けた移行委託料として1,130万円を計上しております。今後も収支バランスを勘案し、健全な運営に向けて、町民、議会の皆様方の御意見を頂きながら進めてまいります。

続きまして、介護保険事業特別会計につきましては、予算額11億5,464万円、前年度対比1,988万円の増額、率にして1.8%の増となります。主な増額要因は、居宅介護サービス給付金の増額によるものでございます。

介護保険事業につきましては、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画3年目の年となります。計画に基づき、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域包括ケアシステム推進を重点目標とし、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、持続可能性を確保することに配慮し、適正なサービス提供を進めてまいります。

次に、用地取得特別会計につきましては、予算額1,536万円、前年度対比2万円の減、率にして0.1%の減となります。平成27年度に取得いたしました旧松田土木事務所跡地の起債に対する元利償還金を計上しております。

後期高齢者医療特別会計につきましては、予算額1億9,280万円、前年度対比274万円の減額、率にして1.4%の減となります。後期高齢者医療関係では、この特別会計のほかに一般会計から後期高齢者医療広域連合へ直接支出する

広域連合事務負担金として781万円と、法定の市町村定率負担金1億2,092万円を計上しております。

以上が令和5年度当初予算案と当面の町政運営についての私からの所信の一端を述べさせていただきました。これにて終わらせていただきます。本日から議会、よろしくお願い申し上げます。

議 長 町長の所信表明を終わります。